

「第11回キッズデザイン賞」3部門で6点の受賞 賞の創設以来、11年連続の受賞

積水ハウス株式会社は、8月21日（月）に発表されたキッズデザイン協議会（内閣府認証 NPO法人、本部：東京都港区）主催の「第11回キッズデザイン賞」において、家族とキャリアのための時間デザイン-仕事と育児の両立サポート-など、3部門で計6点のキッズデザイン賞を受賞しました。当賞の創設以来、11年連続の受賞となります。

キッズデザイン賞は、「子どもが安全に暮らす」「子どもが感性や創造性豊かに育つ」「子どもを産み育てやすい社会をつくる」ための製品・空間・サービスで優れたものを選び、広く社会へ伝えることを目的としています。子どもが使う製品はもちろん、大人・一般向けに開発されたものでも、子どもや子育てへの配慮があれば対象となります。日用品から住宅、街づくり、ワークショップ、調査研究まで幅広い分野が対象となっています。受賞作品には「キッズデザインマーク」の使用が認められます。

なお、9月25日（月）には、全受賞作品298点の中から、最優秀賞作品として「内閣総理大臣賞」1点の他、優秀賞作品として「経済産業大臣賞」4点、「消費者担当大臣賞」1点、「少子化対策担当大臣賞」2点、「男女共同参画担当大臣賞」1点、奨励賞、特別賞が発表される予定です。



受賞項目は、下記のとおりです。

<子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン部門>

- オリジナルユニットバス BCH-V ベンチスタイル^{※1}
- 積水ハウスの分譲マンションにおける安全・安心のための取り組み

<子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門>

- アイランドシティ・コミュニティガーデン^{※2}（福岡市東区）
- 分譲マンション共用部における子どもの成長に合わせた空間の計画

<子どもたちを産み育てやすいデザイン部門>

- ビラージュ三ツ池公園（横浜市鶴見区）
- 家族とキャリアのための時間デザイン -仕事と育児の両立サポート-

(※1) 積水ホームテクノ(株)との共同応募

(※2) 小さな循環いい暮らし事業実行委員会[ベッタ会・積水ハウス(株)・カメラアガーデンクラブ・福岡市(オブザーバー)]として共同応募

<各受賞内容について>

<子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン部門>

■ オリジナルユニットバス BCH-V ベンチスタイル (積水ホームテクノ(株)との共同応募)

親子のバスタイムをより安全に楽しくすることを目的とし、ベンチスタイルのユニットバスを企画・開発しました。ベンチに子どもを座らせて身体を洗ったり、親子が向かい合う機会が増えてコミュニケーションを取りやすくなっています。親子の触れ合いの時間が限られる中で、入浴時間のコミュニケーションに着目しました。浴室は、事故が多いために安全対策が必要不可欠です。跳ね上げ式のベンチを収納する際に指を挟むことがないように「ケガをしにくい」をコンセプトとした設計としています。



指を挟みにくい設計



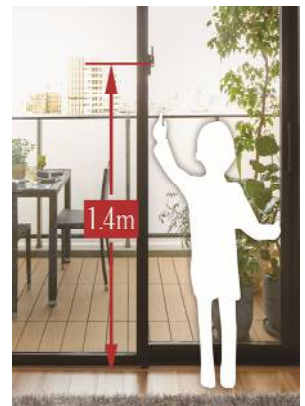
向かい合ってコミュニケーションが取れるベンチスタイルのバスルーム

■ 積水ハウスの分譲マンションにおける安全・安心のための取り組み

安全であるはずの住まいの中でも、事故は発生しています。マンションも例外ではなく、大人にとっては安全な住まいでも、小さく身体能力が未熟な子どもにとっては、危険な場所になることもあります。当社では、長年の研究をベースに子どもの身体や行動の特性を「小さい」「弱い」「わからない」の3つにまとめ、その特性と住まいの中で気をつけるべきポイントを整理し、実際に起こり得る事故を未然に防止するためのアイテムを開発しました。また、住まいにおける子どもの活動をサポートする「子育て」の思想に基づき、子どもが安心して成長できる、子どものためのユニバーサルデザインを分譲マンションにおいて展開しています。



意匠性にも配慮したキッチンゲート



子どもが届かないようクレセントの高さに配慮

<子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門>

■ アイランドシティ・コミュニティガーデン (福岡市東区)

(小さな循環いい暮らし事業実行委員会[ベッタ会・積水ハウス(株)・カメラアガーデンクラブ・福岡市(オブサーバー)]として共同応募)

新しいまち「アイランドシティ」に生まれたコミュニティガーデンは、環境共生に対する意識啓発を目的に様々な活動を行う、積水ハウス(株)の開発予定地を利用したフィールドです。地域の子供達が生身の回りにあるものを循環させる「小さな循環」を基本とした暮らし方を学び、モノを大切にしながら楽しく環境との共生を目指す実践の場となっています。菜園や広場では様々なアクティビティが生まれ、子どもたちが自然や環境と共生する意識を高めることで、環境共生都市への礎を築いています。



コミュニティガーデンの風景



イモ掘りイベント

■ 分譲マンション共用部における子どもの成長に合わせた空間の計画

子どもが様々な体験や経験を積み重ねる場所は、住まいの中ばかりとは限りません。特に分譲マンションの敷地内に設けられた共用部は、貴重な体験の場です。当社では、共用部も子どもの“生きる力”を育む大切な住まい環境としてとらえ、子どもの成長という時間軸を取り入れた空間提案をおこなっています。子どもの発達に合わせた様々な「イドコロ」をキッズルーム、外構計画、絵本ラウンジなどマンションの共用部内に展開しています。成長の過程に配慮した様々な「イドコロ」が見つかることで利用が継続し、コミュニティの形成にも効果的です。子どもを見守りながら、親同士にも会話が生まれる「パパママラウンジ」を併設し、親同士のコミュニティづくりができるような仕掛けも提案しています。



分譲マンション「グランドメゾン」における子どもの成長過程を配慮した「イドコロ」

<子どもたちを産み育てやすいデザイン部門>

■ ビラージュミツ池公園（横浜市鶴見区）

築年数が経過した社宅のリノベーション事業において、子育てしやすい賃貸マンション「ビラージュミツ池公園」への改修を実施しました。

将来にわたり安心して暮らせるよう、愛着を持って暮らせる豊かなコミュニティづくり目指し、既存の集会室を改修し、子育て世代に人気ブランドのボーンネルド^{※3}による魅力的なキッズルームをつくりました。マンション内の子ども同士が一緒になって遊んだり、また、親がゆっくりとくつろぎながら子どもの遊ぶ様子を見たり、親同士のコミュニティが生まれるようラウンジ空間を併設しました。

人と人の縁がつながり広がっていくことで、住民間の豊かな関係の形成という価値を生み出しています。



コミュニティ形成しやすいラウンジ空間



優れた色・デザイン・安全性の遊具が備わっているボーンネルドのキッズルーム

（※3）ボーンネルドは、あそび道具の提供からあそび環境の創造、メンテナンスまで、「あそび」について総合的に取り組んでいる企業です。（HP: <https://www.bornelund.co.jp/company>）

■ 家族とキャリアのための時間デザインー仕事と育児の両立サポートー

積水ハウスでは、2006年に人事基本方針として「人材サステナビリティ」宣言をし、「女性活躍の推進」「多様な人材の活躍」「ワーク・ライフ・バランスの推進」を柱として企業としてのサステナブルな成長が図れるよう推進してきました。従業員が多様な働き方ができ、家族と子どもとの時間を作ることができる環境やそのための様々な制度の整備と、妊娠・出産・育児の経験を仕事に活かして働く仕組み作りに取り組んでいます。

様々な制度の利用は、男女共に活用できるため、夫婦で子育てができる環境づくりが可能となっており、男性社員の育児休業取得率や家事参加比率も高まっています。ライフスタイルやライフステージに合わせて柔軟に働き方を選択する「家族の時間デザイン」で仕事と育児を両立しながら、生活の経験を住宅メーカーで働くキャリアに活かせる「キャリアの時間デザイン」を整えています。



建設現場で活躍する女性現場監督



子育てのためのガイドブック